

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 5 月 14 日 (2009.5.14)

【公表番号】特表 2008-535388 (P2008-535388A)
 【公表日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-034
 【出願番号】特願 2008-504186 (P2008-504186)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

H 0 4 B 1/40 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 1/04 J

H 0 4 B 1/40

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 24 日 (2009.3.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

方法であって、

無線周波数 (R F) 送受信機の第 1 閉ループ経路の第 1 直流 (D C) オフセットを決定することであって、前記第 1 閉ループ経路には、第 1 経路及び第 2 経路が含まれ、前記第 1 経路には、前記 R F 送受信機の第 1 送信経路の一部が含まれ、前記第 2 経路には、前記第 1 送信経路の出力に結合された入力を有する第 1 フィードバック経路の一部が含まれる、前記第 1 直流 (D C) オフセットを決定すること、

前記第 1 経路を除く前記第 2 経路に基づいて、第 2 D C オフセットを決定することを備える方法。

【請求項 2】

R F 送受信機の送信経路を較正するための方法であって、

第 1 モードにおいて、

送信経路及びフィードバック経路が含まれる閉ループの前記フィードバック経路に較正信号を提供すること、

前記第 1 較正信号を前記提供することに応じて、前記フィードバック経路によって出力される第 1 フィードバック信号に基づいて、前記フィードバック経路に関連する第 1 D C オフセットを決定すること

を備え、

第 2 モードにおいて、

第 2 信号を前記閉ループに提供することであって、前記フィードバック経路は、前記第 2 信号の前記提供に応じて、第 2 フィードバック信号を出力する、前記第 2 信号を前記閉ループに提供すること、

前記第 2 フィードバック信号に関連する第 2 D C オフセットを決定すること、

前記第 1 及び第 2 D C オフセットに基づいて、前記送信経路に関連する第 3 D C オフセットを決定すること、

前記第 3 D C オフセットに基づいて、前記第 2 信号を調整すること
を備える方法。

【請求項 3】

無線周波数（R F）送受信機であって、

R F アンテナに結合された出力を含む送信経路と、

前記送信経路の前記出力に結合された入力を含むフィードバック経路と、

前記フィードバック経路の出力に結合された第 1 入力、第 1 信号を受信する第 2 入力、

及び前記送信経路の入力に接続された出力を含む D C オフセット較正モジュールと

を備え、前記 D C オフセット較正モジュールは、

前記送信経路及び前記フィードバック経路を含む閉ループ経路の第 1 直流（D C）オフセットを決定するように動作可能であり、

前記送信経路を除く前記フィードバック経路に基づいて、第 2 D C オフセットを決定するように動作可能である、

無線周波数（R F）送受信機。